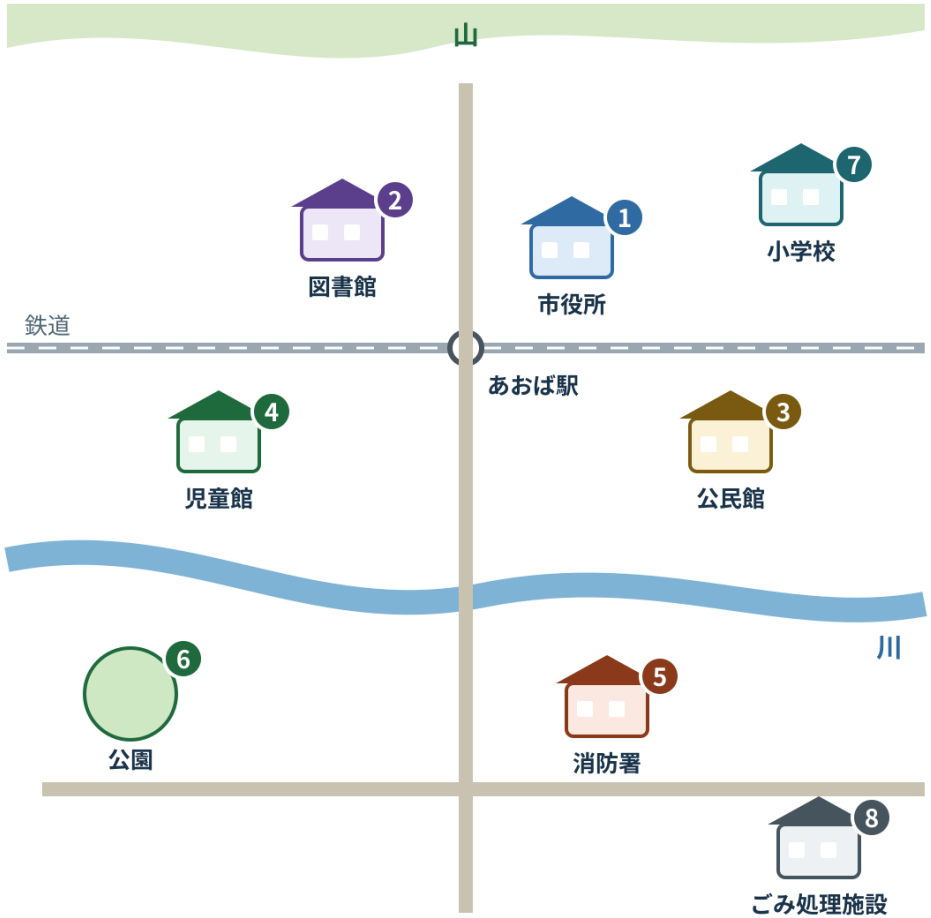
市の公共施設とその働き

公共施設は、どこにあり、どのような働きをしているか

架空の「あおば市」



それぞれの働きと使う人

1. **市役所** — 市の人みんな
   住民の届け出・相談、市の仕事の中心
2. **図書館** — 子どもから大人まで
   本を借りたり、調べものをしたりする
3. **公民館** — 地域の人々
   集まりや学習・サークル活動の場
4. **児童館** — 子どもと家族
   子どもが安心して遊べる場
5. **消防署** — 市の人みんな
   火事や急な病気・けがのときに出動
6. **公園** — 市の人みんな
   遊びや運動・休けいの場。避難場所にも
7. **小学校** — 子ども・地域の人
   子どもが学ぶ。避難所になることも
8. **ごみ処理施設** — 市の人みんな
   集めたごみを燃やしたり、資源にしたりする

多くの公共施設は市役所が運営し、税金を使ってつくられている。
災害のときの避難場所は、市役所が決めている。

あおば市は架空の市。施設の種類や場所は市によって違う。警察署は県の施設。